

# 徳門

発行者

「徳門」発行委員会

〒819-0201

福岡市西区大字宮浦 1930

徳門寺内

電話・FAX

092-809-2817

住職挨拶

天野徳道

あけましておめでとうございます。

本年は四月に永代供養塔が完成し、皆様のご供養について少しでもお力ぞえができるのでは思っております。

大事なお先祖様のご供養でご不安をお持ちの方はどうかご相談下さい。

今年も、いつそう活気のあるお寺作りにつとめていきたいと思っておりますので、どうかよろしくお願い申し上げます。

## 大般若会厳修のご案内

一月七日 月曜日 午前十一時より  
(十時よりぜんざいをお出し致します。)

## 平成三十一年行事のお知らせ

一月七日 十一時  
大般若会 (だいはんにやえ)  
三月 (未定) 十四時  
春季彼岸説教会  
八月七日 十一時  
施餓鬼会 (せがきえ)  
十月一日 十一時  
開山忌 (かいさんき)

## 平成三十一年 年回一覽

一三二七三  
一周回回  
忌忌忌  
忌回回  
忌忌

平平成平成平成  
一 二 二 三  
五 二 七 八 五 九 〇  
年 年 年 年 年 年 年

## 除夜の鐘について

除夜の鐘の「除」という言葉には、古いものを捨て新しいものを迎えるという意味があり、「除夜」とは大晦日の夜の事を言います。つまり除夜の鐘とは、大晦日の日の夜に撞かれる鐘、の事を指しているのです。

除夜の鐘を撞くのは百八回と一応の決まりがあります。

人間には百八つの煩惱（欲望や怒り、苦しみなどの心の乱れ）がある事からその数だけ鐘を撞き煩惱を追い払うというものです。

また、仏教での「四苦八苦」が由来となっているという説もあります。

「しく」は四×九、「はつく」は

八×九と変換して答えを足すと

百八になるから、というわけです。

是非鐘について煩惱を追い

清らかな気持ちで先祖様に

新年のご挨拶をしましょう。



## 永代供養塔完成

以前から寺報でもご紹介しておりました永代供養塔でございりますが、おかげをもちましてこの四月に宮畑納骨堂前に完成し、檀信徒の方からお申し込みやお問い合わせを頂いております。

ご不明な点はどうぞお尋ね下さい

## 住職より～意見発表会にて～

先日北崎中学校の意見発表会でお話しする機会をいただきました。その中で松原泰道師が、円覚寺管長の横田南嶺老師に贈られた言葉を紹介しました。

花が咲いている 精一杯咲いている

わたしたちも 精一杯生きよう

花はその場所で与えられた状況で精一杯咲いている事に触れ、自分の人生を「できる、できない」の結果で考えたり、周囲のせいにしてりせず、精一杯つとめることが大事であると、日々教えられる言葉です。

生徒たちに精一杯生きることの大切さを上手く伝えられたかどうかは自信がありませんが、今後も自分の生き方として、一層深く刻んですごしていこうと思えました。

## 編集後記

今年は諸事情により、孟蘭盆号の発刊ができず、申し訳ありませんでした。

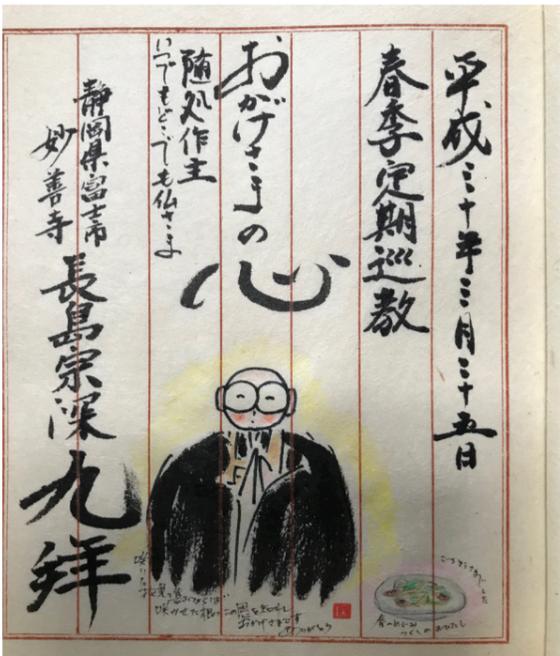
いよいよ平成最後の年、徳門寺にとっても何らかの節目となるかもしれません。

今後とも変わらずご愛読、また掲載してほしい内容等ありましたらどうかお寄せ下さい。

# 歳時記

## ← 永代供養塔完成

この四月に永代供養塔が完成し檀信徒の方からお申し込みやお問い合わせを頂いております。ご不明な点はどうぞお尋ね下さい



ご入会・体験ご希望の方はどうぞお申し出下さい

## → 坐禅会

月一回の坐禅会も徐々にではありますが参加者も増えております



## → 開山忌法要 ↓

十月一日

福岡県無形重要文化財

明暗流尺八一朝軒第二十二世

看守

西光寺住職 磯 玄明 様の

尺八演奏とお話に皆聞き入り

ました



## → 本堂大掃除

十二月三日

女性部の皆様のおかげで、本堂も綺麗になりました。ありがとうございました。



# 徳門寺

→ 除夜の鐘



→ 大般若法要  
一月七日



↑ 春彼岸説教会  
三月二十五日  
→  
本年は十年ぶりに静岡県  
より妙善寺 長島宗深師が  
ご来山されました。

← 九州西教区授戒会  
本年は平戸市の円通寺にて執り行われ 徳門寺からは本戒に総代の安室米蔵さんが参加されました



↑ 奉詠大会  
七月三日・四日  
会場 阿蘇プラザホテル



子ネコ  
産まれました